

議長（志村 忠昭）

休憩前に引き続いて、会議を再開したいと思います。

それでは一般質問を続けます。

3番、金井浩三君。

議員（金井 浩三）

3番、金井浩三。

2点ほど質問させていただきます。

まず1番、安心、安全な町づくりについて。

最近よく目につくようになった、アスファルト舗装の傷み、雨が降れば水が溜まり、車が通ると水が飛び散り家の塀にまで飛んでしみになっている所もあります。

また、お年寄りがシルバーカーを押して散歩したり、田畑に行くときも車輪がはまり困っている光景を目にします。

子供たちが安全に通学でき、お年寄りが安全に散歩したり、田畑へ行ける道路、これも安心、安全な町づくりの一つではないでしょうか。

自治会要望でも多いはずですが。

でも予算の関係上、先送りされているのが実情ではないでしょうか。

そこでお伺いします。

丸尾町長さんは、自治会要望、そしてこの道路の現状をどのように考えておられるのか。

また、大変厳しい財政状況は分かりますが、なんとか、予算を取って早急に対応してもらえないでしょうか。

お答えください。

2番目、ふるさと納税について。

最近テレビ、新聞などで、ふるさと納税のお礼の品が大変話題になったり、地方と地方がお礼の品で争っています。

地方のある町では、町の税収を越える納税があり、また反対に都会のある市ではたくさんの方が地方にふるさと納税する為に、税収が減っている市があると、報道されていました。

我が多度津も税収が減る中、いろいろとアイデアを出し考えていかなければいけないと思います。

地元の人と協力しアイデア次第では納税してくれる人が全国にいます。

うまくいけば、町も潤うし地元の人も潤う、一石二鳥ではありませんか。

先日、高松の大西市長も御礼の品を増やすように、職員に言っている様子が、テレビで放映されていました。

ちなみに2014年4月1日から12月31日までの寄付金額ランキングベスト3は、1

番長崎県平戸市12億7,884万371円、2番佐賀県玄海町9億3,206万8,000円、3番北海道上土幌町9億1,097万5,609円であります。

そこでお伺いします。

2014年4月1日から12月31日まで多度津町へのふるさと納税はいくらですか。お礼の品を増やしたり、また四季折々の品物を返礼する考えはあるのですか。丁寧なご回答よろしくお願ひします。

町長（丸尾 幸雄）

金井浩三議員のご質問のうち「安心安全な町づくりについて」お答えをしておまいます。

私が町長に就任させていただいてから、自治会要望は優先的に実施するよう常に指示しております。

もちろん議員皆様からのご要望も同じですが、自治会要望については、なるべく早く解決するよう言っております。

金井議員ご指摘のように自治会要望の中で、道路等に関する改修要望があまりにも多すぎるのが現状です。

予算の問題と同時に工事日程等、物理的な要素も考慮すると、一朝一夕にはできません。

ご理解賜りますようお願いを申し上げ、金井議員のご質問につきましては、担当課長より丁寧に答弁をして参ります。

政策企画課長（岡部 登）

金井議員の「ふるさと納税について」のご質問に対し、答弁をさせていただきます。

議員ご指摘のとおり「ふるさと納税」の特典を創設したり、種類を増やしたことによって、「ふるさと納税」に対する世間の認知度・関心は高まっており、地方創生の一環で減税対象となる寄附の上限が2倍に引き上げられたり、ワンストップ特例制度の創設などの制度改正の影響もあつて、本町へも「ふるさと納税」について様々なお問い合わせをいただいております。

そのような中、平成26年度の当町へのふるさと納税は、21件、88万4,000円で行いました。

そのうち18件、57万4,000円が4月1日から12月31日までの件数及び金額であり、ご質問の中で挙がっておりました3市町の寄附額とは、比較にならないというのが実情であります。

この状況を少しでも改善するため、現在、他市町の事例研究を行い、ふるさと納税の推進策について検討を進めております。

具体的には、お礼の品を増やし、寄附をしてくださった方が寄附した金額に応じて、お礼の品を選択できるようにして、選ぶ楽しみをアピールするような形

を検討中です。

ふるさと納税についての関心が高まっている今、時流に乗り遅れることのないよう、早期の制度化を目指してまいります。

以上で、金井議員の「ふるさと納税について」のご質問に対する答弁とさせていただきます。

議長（志村 忠昭）

以上で、金井議員の一般質問に対する答弁は、町長、担当課長からありましたが、金井議員、再質問があればお受けいたします。

議員（金井 浩三）

道路予算についてなんですが、計画性を持って予算を計上されているのか、それとも予算を計上しているがカットされているのかどうか、課長よろしくお願いたします。

建設課長（島田 和博）

再質問にお答えいたしますが、なかなか部署内のことでありますので、私自身は、うちの課としてやはり議員さんのご要望、及び自治会要望につきまして、それと我々が計画するにあたって約3年前でしたか、予算をいずれにしてもこの維持費、改良予算をどれくらいあるのかという予算の前の事前の協議の中でありましたので、それは計画書を出して金額も出しております。

あの当時で約12億ぐらいの、主に幹線、我々がやはり車の台数含めて幹線道路が昭和50年代、60年代の改良の舗装でございますから、もうすでに30年、40年経っておる舗装ばかりでございます。

金井議員がおっしゃるようにもうそれを含めて元の町道の狭い部分、それと里道、その当時は潤沢な予算もございましたから、ある程度舗装整備は県内でもトップクラスの舗装の整備率でございました。

ただこれが使っていただくうちにそういう劣化をしておる、舗装は大丈夫なんだけども、骨材が見えて転んだらがりがりの怪我をすると、そういう分がございまして、今のところ緊急にやらさせていただいておるのは、継続的に幹線道路からいく改良と議員さん及び自治会要望の改修、それと改良と言いましてある程度大型車両等々に路体が堪えれないかんということで、国庫補助の対応もいたしながら今現在執行はいたしております。

現実に先程申しましたようにふるさと納税等でたくさんの税が入れば我々も執行率が上がるということでございますので、後は総務課長にしっかり言うときますので、ご容赦いただきたいと思います。

取り寄せ緊急の課題についても穴ポツ等は、処理をすぐいたすような体制を取ってますが、やはり何百㎡というくらいのことになるとやはり予算が伴わなければ絶対の整備率にはならないということでございますので。

若干そういう意味では、我々としても使命的に町の中でもいろいろ予算がありますけれどもお願いをしていく所存でございますので、ご容赦をいただきたいと思えます。

総務課長（石原 光弘）

金井議員の再質問のことで、予算上の見地から答弁いたします。当初予算の査定の段階で建設課の方から多くの自治会要望、或いは議員さんの要望、それぞれ町の政策的なものとして道路関連事業費が上がってまいります。

その中で全て財政担当と私の方が現地を確認して、取り急ぎいかないかん分については当初予算で計上しておりますけれども、いかんせん他の事業との関係もありまして、どれだけ組めるかというのはその時々で状況で変化してまいります。

ただ前年度の決算状況見た中で、ある程度どうしても当初予算計上できなかつたしなければいけないものについては、9月補正対応ということで、昨年度の場合は割と決算がよかったということで、9月補正で5,000万円程度の道路舗装関係の需要費を計上させていただきましたけれども、今年度も決算状況を見ながら9月補正である程度組めるものについては対応してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。

議長（志村 忠昭）

金井議員、今の再質問の答弁に対して再々質問ありますか。

議員（金井 浩三）

要望なんです、総務課長、ひとつよろしくお願ひいたします。それと企画のふるさと納税、よろしくお願ひいたします。以上です。